



株主通信

第58期・事業のご報告

(2018年3月1日～2019年2月28日)



マックスバリュ北海道株式会社

証券コード: 7465

マックスバリュ北海道は、 “すべてはお客さまのために”という 不変の理念のもとに、 「基本の徹底と変化への対応」に 取り組みます。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、このたび当社第58期(2018年3月1日から2019年2月28日まで)が
終了いたしましたので事業の概況などにつきましてご報告申し上げます。

また、当社は2020年3月1日をもって、同じイオングループである
イオン北海道株式会社と経営統合することを決議いただきました。

経営統合により、経営資源やノウハウの共有化をすすめ、シナジーの極
大化を図ることで、今まで以上に北海道に貢献できる企業を目指してま
いります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜り
ますようお願い申し上げます。

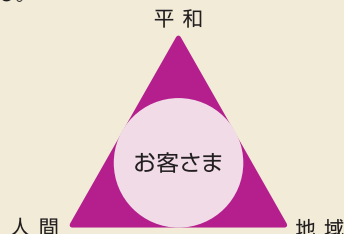
2019年5月



代表取締役社長 出戸信成
Deto Nobunari

イオンの基本理念

お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会
に貢献する。



「平 和」:イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。

「人 間」:イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。

「地 域」:イオンは、地域のくらしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。

イオン(AEON)とは、ラテン語で「永遠」をあらわします。

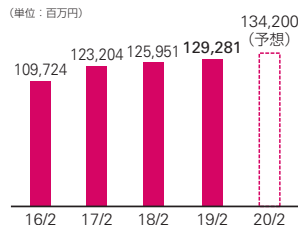
私たちの理念の中心は「お客さま」:イオンは、お客さまへの貢献
を永遠の使命とし、最もお客さま志向に徹する企業集団です。

イオンは基本理念のもと、**絶えず革新し続ける企業集団**として、
「**お客さま第一**」を实践してまいります。

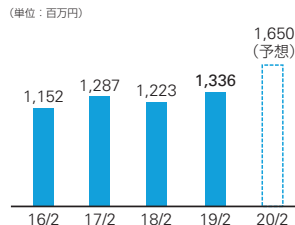
財務ハイライト



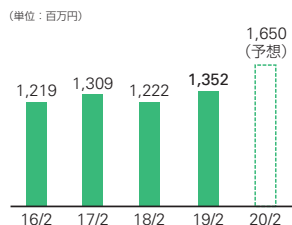
営業収益 1,292億81百万円
(前期比 $\uparrow$ 2.6%増)



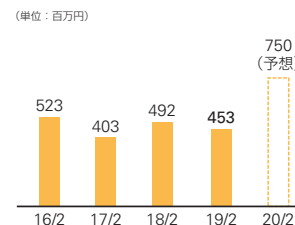
営業利益 13億36百万円
(前期比 $\uparrow$ 9.2%増)



経常利益 13億52百万円
(前期比 $\uparrow$ 10.7%増)



当期純利益 4億53百万円
(前期比 $\downarrow$ 8.1%減)



2019年2月期決算のポイント

- 新規出店および大型改装では、2店舗の新規出店と6店舗の大型改装を実施いたしました。新規出店として、8月に「マックスバリュ北1条東店」(札幌市中央区)、11月に「マックスバリュ寒西店」(札幌市豊平区)を開店いたしました。都市部における限られた敷地でお客さまが買い回りし易い売場の配置にするとともに、商圏の特性やお客さまのニーズに対応して、簡便、即食、健康を意識した商品やこだわりの商品の品揃えを充実いたしました。また、都市型のライフスタイルに対応すべく、店舗2階にゆっくりおくつろぎ頂けるイートインスペースを併設し、多くのお客さまにご利用いただいております。大型改装では、お客さまが買い回りし易い売場の配置に変更し、老朽化した設備の入れ替え等を実施するとともに、ご要望の多い手早く調理が出来る商品や健康志向に対応した商品の品揃えの充実を図りました。
- 商品・営業面では、お客さまの節約・低価格志向にお応えすべく購買頻度の高い商品の価格訴求を行ってまいりました。低価格でご提供する販売企画「安い値!」や、毎週実施の曜日市、毎月恒例の「お客さま感謝デー」等の販売強化を実施してまいりました。
- 商品力向上の取り組みとして、野菜の鮮度向上に取り組み、朝に収穫したレタスやとうもろこしを「今朝採れ野菜」として販売することや商品を限定して産地から直接自社センターに入れ店舗に納品する物流の見直しを実施してまいりました。
- 客数増加の取り組みでは、デジタル販促企画として札幌市内のマックスバリュ店舗を対象とした割引クーポンの配布企画や、ザ・ビッグ店舗においてLINEアプリに登録いただいたお客さまへチラシを配信するサービスを開始し、登録件数が毎月増加しております。今後も効果検証を行い、客数増加に結び付く販売促進を実施してまいります。
- 売上高は、前期比102.7%、客数は前期比100.1%、客単価は同102.6%となりました。既存店の売上高については、前期比100.7%、客数は同98.7%、客単価は同102.0%となりました。

次期の見通し

当社の属する北海道のスーパーマーケット業界では、業態を超えた競争は一層激しさを増し、節約・低価格志向が継続するとともに、全国に先駆けて進む人口減少、高齢化の進行等厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社は成長戦略の一環である新規出店を積極的に行ってまいります。2019年は、函館市に2店舗の新規出店を計画しております。地域のニーズに合った品揃え、売場配置等を進化させ、地域に密着した店舗経営を実践してまいります。また、商圏特性やお客さまのライフスタイルに合わせた店づくりをするために既存店舗の改装も引き続き実施し、老朽化した設備の入れ替えを伴う大規模改装に加え、お客さまのニーズにお応えする品揃えの変更や省力化什器等の導入を主とした小規模改装も実施し、商圏シェアの拡大を図ってまいります。商品力強化への取り組みとして、野菜や生鮮魚の鮮度改善に向けた取り組みを進めてまいります。具体的には、昨年から始めた収穫から店着までの納品日数短縮は、取扱い品目数を増やし鮮度改善につなげてまいります。合わせて、生産性向上の取り組みとして、作業効率改善に向け、新たな自動発注システムおよび、省力化陳列什器等の導入を実施してまいります。

2020年2月期 業績予想

営業収益	1,342億円 (前期比+ 3.8%)
営業利益	16億50百万円 (前期比+23.5%)
経常利益	16億50百万円 (前期比+22.0%)
当期純利益	7億50百万円 (前期比+65.5%)



①マックスバリュ北1条東店 2018年8月24日開店(札幌市中央区)

②マックスバリュ月寒西店 2018年11月9日開店(札幌市豊平区)



Point

- ・調理工程が見える売場
- ・くつろぎひろばの拡充

惣菜、ベーカリー、刺身のコーナーをオープンキッチンにし、調理工程を見ていただき、安心してお買い物いただけるようにいたしました。また、お買い上げいただいた商品を召し上がりながらゆっくりおくつろぎいただける「くつろぎひろば」を、両店舗とも約90席設けました。快適に過ごしていただくため無料の飲み物やWi-Fi環境を整えており、多くのお客さまにご利用いただいております。また商品の品揃えでは、ニーズが拡大している即食・簡便商品を数多く品揃えするとともに、「びらとり和牛」や「クラフトビール」など、各部門で「おいしさ」を追求したこだわりの商品を取り揃えました。

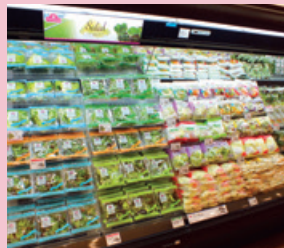
オープンキッチン



くつろぎひろば



惣菜、パン、冷凍食品など、即食・簡便商品の拡充



各部門で「おいしさ」を追求したこだわり商品の取り扱い



地域密着を追求する店舗運営～6店舗の既存店活性化～



○マックスバリュ

(スーパーマーケット業態)

活性化オープン日

マックスバリュ西陵店 (帯広市)

2018年3月17日

マックスバリュ芦別店 (芦別市)

4月14日

マックスバリュ琴似3条店 (札幌市)

4月28日

マックスバリュの店舗は、「品揃えの見直し」に注力しました。特に、近隣で生産・漁獲された商品、地域に根ざし親しまれている地場商品や、ニーズが拡大している即食・簡便商品、健康に配慮した商品の品揃えを豊富に取り揃えました。合わせて老朽化した設備の入れ替えも行い、快適にお買い回りできるような環境を整えました。



地域に根差した商品の取り扱い



即食・簡便商品の品揃え



健康に配慮した商品の品揃え

○ザ・ビッグ

(ディスカウント業態)

活性化オープン日

ザ・ビッグ江別店 (江別市)

2018年3月30日

ザ・ビッグ石山店 (札幌市)

5月25日

ザ・ビッグ西岡店 (札幌市)

7月27日

ザ・ビッグの店舗は、売場面積を拡張し、今まで取り扱いきななかった商品を取り揃えることにより、品揃えの拡充を図りました。また、商品陳列時の作業効率を高めるため、一度に多量の商品を陳列できる什器等を導入しました。加えて、老朽化した冷蔵設備や陳列什器を入れ替えました。



売場面積拡張による品揃えを充実



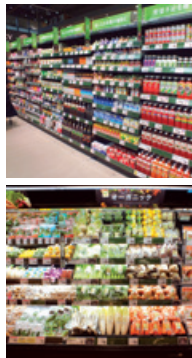
商品陳列作業の効率化



老朽化した冷蔵設備の入れ替え



●節約志向と健康志向への対応



継続する節約志向にお応えすべく、購買頻度の高い商品を中心に価格訴求を行ってまいりました。具体的には、毎週実施の「火曜日(スーパーマーケット業態)」「水・木曜日(ディスカウント業態)」などの曜日市や、お買い求めやすい価格でご提供する「安い値!」「今週のおすすめ品」の販売強化を実施いたしました。また、健康志向にお応えするため、特定保健用食品や機能性表示商品などを拡充したほか、減塩、低糖質などの健康に配慮した商品も取り揃えいたしました。

●改善活動による店舗魅力向上【マイストア委員会】



フレンド社員(パートタイマー)で構成する改善活動(マイストア委員会)を全店舗で取り組んでおります。毎年活動発表会を実施し、優秀店舗の良い取り組み事例を共有しております。地域のことを熟知しているフレンド社員が地域の文化・習慣に合った商品や、売場の改善活動などの意見を出し合い、魅力ある売場づくりの実現を目指しております。

●更なる鮮度向上の取り組み



お客さまにより良い商品をご提供すべく、更なる鮮度向上に取り組みました。特に野菜の鮮度にこだわり、その日の朝に収穫したレタスやとうもろこしを「今朝採れ野菜」として、35店舗で取り扱いました。お客さまからみずみずしい、甘いなど、おいしさに対するお言葉をいただきました。また、一部の商品において道内、道外それぞれの物流を見直すことで、収穫から店着までの納品日数を短縮し、鮮度改善につなげる取り組みも行いました。

●「お客さまの声」お聞かせください



当社の店舗には、お客さまにご意見などをいただく投函BOXを設置しております。お寄せいただくご意見、ご要望、お叱りは店舗でお答えするだけでなく、定期的に幹部社員で内容の確認を行い、品揃えやサービスの改善に活かしております。なお、ご意見は当社のホームページからもお寄せいただけますので是非ご活用くださいませ。

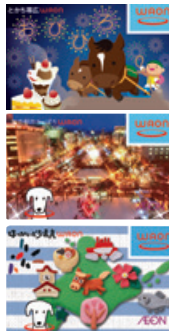
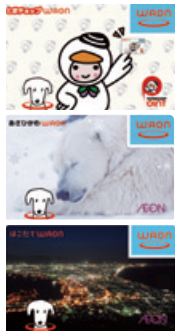


●いざという時に、お力になれる企業をめざして



地震や風水害、その他災害が発生した際に、食料品、飲料水、日用品など必要な応急生活物資の円滑な供給などを盛り込んだ防災協定を締結しております。2018年9月6日の地震発生時には、防災協定を締結している自治体から、緊急支援物資の要請があり、おにぎりやパン、飲料水などをご提供いたしました。また、当日の午前中には全店舗が店外での販売を実施し、3日後の9月9日には震源に近い店舗を除くすべての店舗で店内営業を再開いたしました。

●電子マネー「WAON」による寄付活動



ご当地WAONは、ご利用金額の一部を当社が自治体などに寄付させていただきます。地域の環境保全、観光振興等にお役立ていただいているカードです。2018年9月8日には、「くしろWAON」を発行し、ご利用金額の0.1%を当社が釧路市に寄付し、子どもたちのためのスポーツ・文化の振興と育成、タンチョウや阿寒湖のマリモなどの自然環境保護、釧路市動物園の環境整備にお役立ていただく予定です。

現在、北海道に関わるご当地WAONは8種類を発行しており、2018年度は総額約562万円を寄付させていただきました。

●イオン 幸せの黄色いレシート



毎月11日の「イオン・デー」には、お会計時にお渡しする黄色いレシートを店舗に設置してあるBOXへ投函していただくことで、レシート金額合計の1%相当を希望される品物に換えて福祉団体や学校等へ寄贈させていただいております。2018年度は、187団体さまに約706万円分の商品を寄贈させていただきました。

●地域に密着した食育活動の推進



2012年度より、次世代を担う地域のお子さまを対象に、野菜・果物摂取の大切さ、正しい食生活のあり方を知っていただくことを目的として「食育体験学習」を各店舗で実施しております。取り組み開始から7年目となり、2018年度は9店舗で438名のお子さまに参加いただきました。

●清掃活動

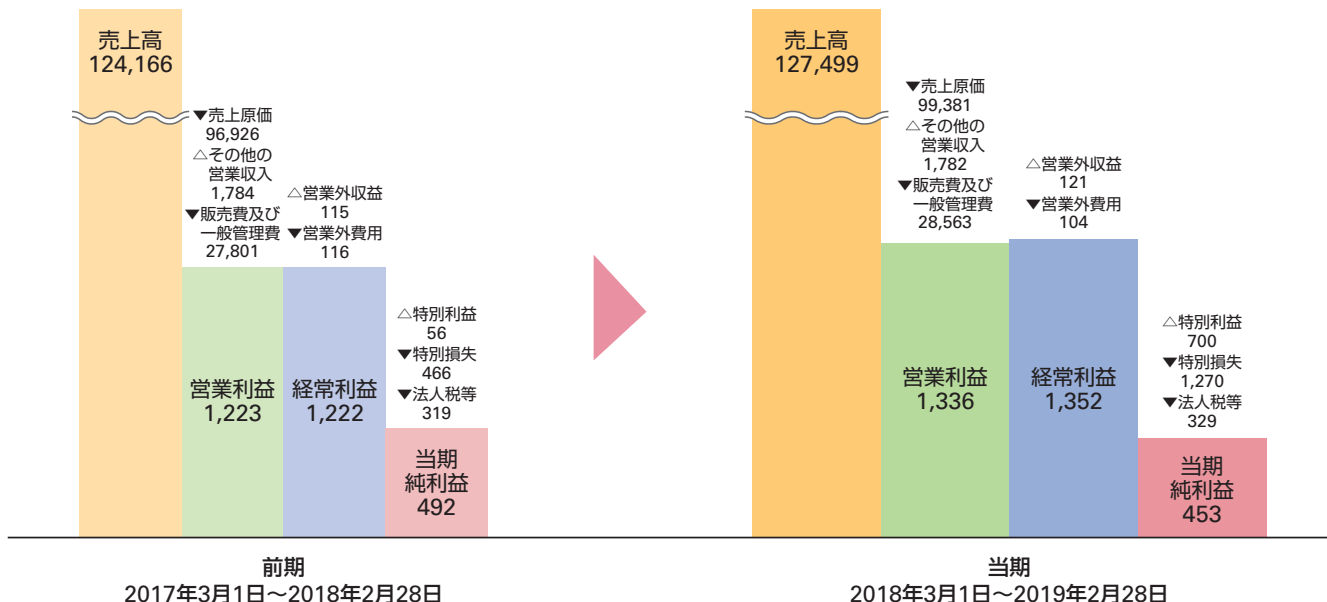


毎月11日の「イオン・デー」は、未来へ繋ぐより良い環境を実現するため、店舗と本社の周辺地域や公園等の清掃活動を実施しております。毎年10月の3R推進月間には、各地域で清掃活動を拡大して実施しております。2018年度は各地域の皆さまやイオングループ従業員など約2,300名が参加いたしました。

2018年度の業績報告 決算レポート



損益計算書(単位:百万円)



売上高

当事業年度では、2店舗の新規出店と6店舗の大型改装を実施いたしました。また、購入頻度の高い商品の価格訴求や野菜の鮮度向上、デジタル販促企画による客数増加の取り組みなどにより、売上高が前期と比較して2.7%増加し、1,274億99百万円となりました。

営業利益

売上高から売上原価を差し引いた売上総利益は、売上高の増加と商品の値引率の改善等により、前期より3.2%増加し281億17百万円となりました。また、人時単価の上昇による人件費の増加や電気料金の増加、新規出店や大型改装投資などにより販売費及び一般管理費が前期と比較して2.7%増加し285億63百万円となりました。これにより営業利益は前期より9.2%増加し13億36百万円となりました。

経常利益

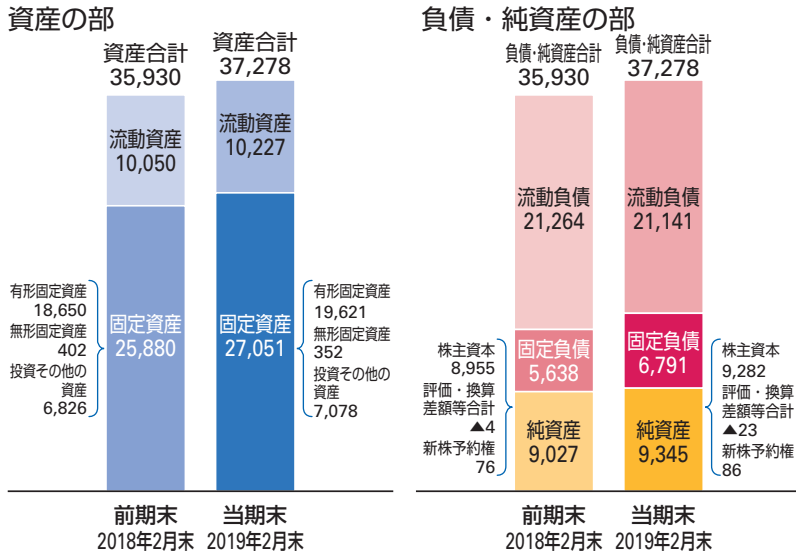
営業外収益を1億21百万円及び営業外損失を1億4百万円計上したことにより、経常利益は前期より10.7%増加し13億52百万円となりました。

当期純利益

災害による受取保険金を特別利益として7億円、災害による損失を7億40百万円、また、不採算店舗が保有する固定資産の減損損失を4億39百万円をそれぞれ特別損失として計上しました。法人税等として3億29百万円計上し、当期純利益は前期より8.1%減少し4億53百万円となりました。



貸借対照表(単位:百万円)



資産の部

前期末に比べ3.8%増加し、372億78百万円となりました。これは主に建物(純額)が8億92百万円、長期前払費用が4億81百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

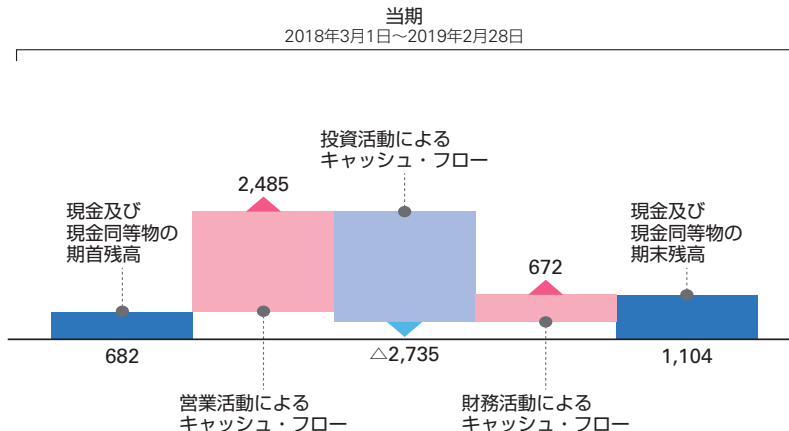
負債の部

前期末に比べ3.8%増加し、279億33百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したものの、長期借入金が増加したものの、未払消費税等が2億29百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産の部

前期末に比べ3.5%増加し、93億45百万円となりました。これは繰越利益剰余金が増加したこと等によるものです。

キャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は前期に比べ3億96百万円増加し、24億85百万円となりました。収入の主な内訳は、減価償却費16億76百万円、税引前当期純利益7億82百万円で、保険金の受取額6億58百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額7億36百万円であります。

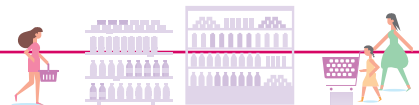
投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は前期に比べて10億79百万円減少し、27億35百万円となりました。収入の主な内訳は、建設協力金の回収による収入2億29百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出28億49百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果得られた資金は前期に比べて10億40百万円減少し、6億72百万円となりました。収入の主な内訳は、長期借入れによる収入40億円、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出21億円、短期借入金の減少額10億34百万円であります。

会社情報



株式の状況

発行可能株式総数	27,000,000株
発行済株式の総数	6,911,825株（自己株式29,525株を除く）
株主数	3,699名（前期比68名減）
単元株式数	100株
	（2019年2月28日現在）

大株主の状況

株主名	持株数（株）	持株比率（％）
イオン株式会社	3,985,900	57.7
株式会社北洋銀行	339,000	4.9
マックスバリュ北海道共栄会	330,200	4.8
イオンフィナンシャルサービス株式会社	265,000	3.8
株式会社北海道銀行	170,000	2.5
出戸一成	140,400	2.0
マックスバリュ西日本株式会社	118,000	1.7
株式会社北陸銀行	106,000	1.5
出戸信成	63,000	0.9
株式会社エフピコ	61,000	0.9

（注）持株比率は自己株式を控除して計算しております。
（2019年2月28日現在）

株主分布状況

種別	人数（名）	分布比率（％）
国内法人	136	3.68
金融機関	10	0.27
証券会社	8	0.22
外国人	4	0.11
自己名義株式	1	0.03
個人・その他	3,540	95.70
		（2019年2月28日現在）

会社概要

社 名	マックスバリュ北海道株式会社
本 社	〒060-0008 北海道札幌市中央区北8条西21丁目1番10号
資 本 金	11億76百万円
設 立	1961年3月
事 業 内 容	スーパーマーケット
従 業 員 数	1,110名 パートタイマー3,615名（8時間換算） （2019年2月28日現在）
主 要 取 引 銀 行	株式会社北洋銀行、株式会社北海道銀行
株 式 代 行 業 務	三井住友信託銀行株式会社
役 員	代表取締役社長 出 戸 信 成 取 締 役 水 谷 和 彦 取 締 役 玉 生 澄 絵 取 締 役 鈴 木 秀 康 取 締 役 石 橋 孝 浩 取 締 役 國 保 明 宏 取 締 役 土 井 育 雄 取締役（非常勤） 青 柳 英 樹 取 締 役（社 外） 林 美 枝 子 取 締 役（社 外） 水 野 克 也 常勤監査役（社外） 福 岡 眞 人 監 査 役（社 外） 橋 本 昭 夫 監 査 役（社 外） 吉 岡 征 雄 監 査 役（社 外） 芳 賀 直 人

（2019年5月16日現在）

決議ご通知

第58期定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第58期定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬具

記

報告事項 第58期（2018年3月1日から2019年2月28日まで）事業報告の内容および計算書類の内容報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 当社とイオン北海道株式会社との吸収合併契約承認の件
本件は、原案どおり承認可決されました。

第2号議案 取締役10名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、取締役に戸信成、水谷和彦、玉生澄絵、鈴木秀康、石橋孝浩、國保明宏、土井育雄、青柳英樹、林美枝子、水野克也の各氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第3号議案 監査役2名選任の件
本件は、原案どおり承認可決され、福岡真人、吉岡征雄の両氏が社外監査役として選任され、それぞれ就任いたしました。
以上

株主メモ

決算期	毎年2月末日
利益配当基準日	2月末日
中間配当基準日	中間配当を行う場合は8月31日
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 168-0063
郵送物送付先 (電話照会先)	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031（フリーダイヤル）
同取次所	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告を右記の当社ホームページにて行います。やむを得ない事由による場合は日本経済新聞に掲載し、公告いたします。

●単元未満株式をお持ちの株主さまへ

当社は1単元（100株）に満たない株式（単元未満株式）をお持ちの株主の皆さまのご便宜を図るため、従来からの買取制度に加え、「単元未満株式の買増制度」を実施しておりますので、ご利用ください。お手続きなどの詳細につきましては株主名簿管理人あてにご照会ください。なお、保管振替制度をご利用の株主さまは、お取引証券会社あてにご照会ください。



ホームページのご案内

ホームページでは、当社の企業活動全般の情報を掲載しております。
また、決算発表資料等を適時掲載しております。



<http://www.mv-hokkaido.co.jp/company/>

株主優待制度のご案内

■対象となる株主さま

決算期末現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主さま

※2020年2月末日における株主さまにつきましても以下の株主優待品の贈呈を予定しております。

■優待内容

所有株式数1単元（100株）以上保有の株主さまに対し、下記のとおり贈呈いたします。

① 100株～999株の株主さま 下記のいずれかのコースをお選びください。 ①優待券コース 株主さまご優待券 5,000円分 (100円券×50枚)  ②海コース(注) 北海道産 ボイル毛かに (400g)2杯  ③山コース(注) ふらの産 プラチナ メロン赤肉 (特秀品)2L×2玉  ④スイーツコースⅠ (六花亭) 北海道銘菓 六花亭 詰め合わせセット  ⑤スイーツコースⅡ (柳月) 北海道銘菓 柳月 詰め合わせセット 	② 1,000株～1,999株の株主さま 下記のいずれかのコースをお選びください。 ①優待券コース 株主さまご優待券 10,000円分(100円券×100枚)  ②海コース(注) 北海道産ボイル毛かに(500g)2杯・ 開きほっけ2パック・北海道前浜たらこ  ③山コース(注) ふらの産プラチナメロン赤肉(特秀品)2L×2玉 ふらの産青肉メロン2L×2玉 	③ 2,000株以上の株主さま 下記のいずれかのコースをお選びください。 ①優待券コース 株主さまご優待券 20,000円分(100円券×200枚)  ②海コース(注) 北海道産ボイル毛かに(500g)2杯・ 開きほっけ2パック・時鮭5切・たこ足・ 北海道前浜たらこ・いくら醤油漬・数の子千両(松前漬)  ③山コース(注) ふらの産プラチナメロン赤肉(特秀品)3L×2玉 ふらの産青肉メロン3L×2玉 
---	--	---

※株主さまご優待券は、当社が運営する北海道内のマックスバリュ、マックスバリュエクスプレス、札幌フードセンター、プライスマート、ザ・ビッグ、ザ・ビッグ エクスプレス、いちまるの各店舗および、全国のマックスバリュ、イオン、まいばすけっと、ザ・ビッグ、スーパーセンター等の直営店舗でご利用いただけます。

※株主さまご優待券は、1回のお買上金額が1,000円(税込)以上の場合につき1,000円毎に1枚ご利用いただけます。ただし、酒類・タバコ・切手・印紙・ハガキ・商品券・プリペイドカード・処方箋により販売する医薬品・その他各社の指定する商品にはご利用できませんのでご了承ください。

■お届け時期

優待券コースは、6月中旬から下旬、海コースは、冷凍にて7月上旬から中旬、山コースは、常温にて7月中旬から8月上旬、スイーツコースは、冷蔵にて6月中旬から下旬に、それぞれお届けを予定しております。

(注)海・山コースは、漁獲、収穫の状況により発送が前後することがございます。また、天候の状況等により、やむを得ず商品を変更する場合がございますので、予めご了承ください。



マックスバリュ北海道株式会社

〒060-0008 札幌市中央区北8条西21丁目1-10

TEL 011-631-1358 FAX 011-631-1394

URL <http://www.mv-hokkaido.co.jp/>



木を植えています

私たちはイオンです

